



Hewlett Packard
Enterprise

HPE iLO 5 リリースノート

1.10

部品番号: 880725-191
発行: 2017 年 7 月
版数: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品、およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。Hewlett Packard Enterprise は本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から許諾を得る必要があります。米国政府の連邦調達規則である FAR 12.211 および 12.212 の規定に従って、コマーシャルコンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーションおよびコマーシャルアイテムのテクニカルデータ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダーが提供する標準使用許諾規定に基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクを使用すると、Hewlett Packard Enterprise Web サイト外に移動します。Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報は Hewlett Packard Enterprise の管理対象外であり、それらの情報について責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft® および Windows® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Java® および Oracle® は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

Google™ は、Google Inc. の商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

SD は SD-3C の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VMware® は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。

リリースノート

説明

iLO 5 は、HPE ProLiant サーバーおよび Synergy コンピュートモジュールのシステムボードに内蔵されているリモートサーバー管理プロセッサです。iLO では、リモートの場所からサーバーを監視および制御できます。iLO 管理は、サーバーをリモートで構成、更新、監視、および修復するための複数の方法を提供する強力なツールです。iLO (Standard) は Hewlett Packard Enterprise サーバーにあらかじめ設定されています。コストやライセンスの追加はありません。

サーバー管理者の生産性を向上させる機能および追加のセキュリティ機能がライセンス付与されています。詳しくは、Web サイト (<http://www.hpe.com/support/ilo-docs>) にある iLO のライセンスガイドを参照してください。

アップデートの推奨事項

初回リリース

旧バージョン情報

置き換えられるバージョン なし

製品モデル

iLO 5

サポートされるデバイス

- HPE ProLiant BL460c Gen10 サーバー
- HPE ProLiant DL360 Gen10 サーバー
- HPE ProLiant DL380 Gen10 サーバー
- HPE ProLiant DL560 Gen10 サーバー
- HPE ProLiant XL230k Gen10 サーバー
- HPE Synergy 480 Gen10 コンピュートモジュール
- HPE Synergy 660 Gen10 コンピュートモジュール

オペレーティングシステム

- Microsoft Windows Server 2012、R2
- Microsoft Windows Server 2016
- Red Hat Enterprise Linux 6.9
- Red Hat Enterprise Linux 7.3
- SuSE Linux Enterprise Server 11 SP4
- SuSE Linux Enterprise Server 12 SP2
- VMware vSphere 6.0、6.5

ブラウザ要件

サポートされるブラウザ

iLO の Web インターフェイスを実行するために、最新バージョンの以下のブラウザがサポートされています。

- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Google Chrome
- Internet Explorer 11

必要な設定

以下の設定が有効でなければなりません。

- **JavaScript** - iLO の Web インターフェイスは、クライアント側 JavaScript を頻繁に使用します。この設定は、すべての Internet Explorer バージョンでデフォルトでは無効です。構成の手順については、iLO のユーザーガイドを参照してください。
- **Cookies** - 一部の機能が正常に動作するために、Cookie を有効にする必要があります。
- **ポップアップウィンドウ** - 一部の機能が正常に動作するために、ポップアップウィンドウを有効にする必要があります。ポップアップブロックが無効になっていることを確認してください。
- **TLS** - iLO の Web インターフェイスにアクセスするには、ブラウザで TLS 1.0 以降を有効にする必要があります。

言語

このリリースでサポートされる言語：

- 英語
- 日本語
- 簡体字中国語

機能

次の機能を持つ最初の iLO 5 のリリース：

- **iLO サービスポート** - サポートされた USB Ethernet アダプターを使用すると、クライアントを直接 iLO サービスポートに接続することができます。Ethernet アダプターに HPE USB (部品番号 Q7Y55A) を使用することをおすすめします。また、USB キーを接続して、Active Health システムログをダウンロードすることもできます。
- **Agentless Management** - OS ベースのエージェントを必要としないアウトオブボックス SNMP ベースのサーバー管理に対応する Agentless Management のサポートを改善しました。

OS ベースのエージェントは、Gen10 サーバーではサポートされていません。

- **セキュアスタート** - この機能は、基本的システムファームウェアのファームウェア整合性を確保します。
- **セキュアリカバリ** - 電源が入ったときに、iLO ファームウェアを検証します。ファームウェアが有効でないと、iLO ファームウェアは自動的にフラッシュされます (iLO 標準ライセンス)。

サーバーの起動時に、システム ROM を検証します。有効なシステム ROM が検出されないと、サーバーは起動できません。リカバリオプションには、アクティブおよび冗長 ROM の交換や、ファームウェアの検証スキャンとリカバリアクションの起動などがあります (リカバリのスケジューリングと自動化には、iLO Advanced Premium Security Edition のライセンスが必要です)。

- **ファームウェアの検証とリカバリ** - スケジュール済みまたはオンデマンドでファームウェアの検証スキャンを実行して、問題が検出されたときに実装するリカバリ操作を構成します、
- **ファームウェア管理** - セキュアファームウェアのアップデートとリカバリを改善しました。

コンポーネントを iLO レポジトリに保存し、SUM を使用してインストールセットを構成したり、インストールキューを管理したりします。

- **iLO セキュリティ状態** - ご使用の環境に合ったセキュリティ状態を構成します。iLO Production セキュリティ状態 (デフォルト) や、HighSecurity、FIPS、SuiteB などの高いセキュリティ状態をサポートしています。
- **ツーフaktor認証** - ツーフaktor認証は、Kerberos および CAC Smartcard 認証でサポートされます。

- **新しいユーザーアカウント権限レベル** - BIOS、ストレージ、ネットワーク構成用の特殊な権限です。これらの権限は、iLO の Web インターフェイスまたは iLO RESTful API を介して、BIOS、ストレージ、またはネットワークを構成するときに適用されます。これらの権限は、ホストベースのユーティリティを使用した設定には影響しません。
- **Virtual Media の改善** - 仮想メディアのパフォーマンスは、通常、iLO 4 の少なくとも 2 倍速くなります。
- **新しい iLO Web インターフェイス設計。**
- **iLO RESTful API および RESTful インターフェイスツール (iLOrest)** - iLO 5 には、Redfish の拡張サポートが含まれます。iLO RESTful API は Redfish API に準拠しています。
- **iLO インターフェイスの管理** - セキュリティを強化するには、iLO 選択されたインターフェイスや機能を有効または無効にします。

問題の修正

なし - 初回リリース

既知の問題

- iLO が HighSecurity セキュリティ状態を使用するように構成されている場合、認証をサポートする Smart コンポーネントが使用できるようになるまで、ファームウェアの更新は直接 iLO の Web インターフェイスから実行するか、iLO RESTful API を介して実行する必要があります。
- 共有ネットワークポートを使用するように構成されているサーバーは、電源投入トラップを受信できません。
- USB Ethernet アダプターで iLO サービスポートに接続するには、ASIX Electronics Corporation の AX88772 シリーズチップセットに基づいた USB 2.0 デバイスを使用する必要があります。
Ethernet アダプター (部品番号 Q7Y55A) に HPE USB の使用をおすすめします。
- **メモリページ**では、OS の起動後に「Other」が表示されたままになる場合があります。このページを更新するには、**Shift+F5** (Chrome の場合) または **Ctrl+F5** (Internet Explorer または Microsoft Edge の場合) を押します。
- サーバープラットフォームサービス (SPS) ファームウェアを更新ときは、サーバーの電源を切る必要があります。サーバーの電源を切った後、30 秒待ってから SPS ファームウェアアップデートを開始してください。
- iLO 5 のリリースでは、iLO の Web インターフェイスで利用可能な新しい機能のいくつかは、RIBCL または CLI でサポートされていません。特に、新しい iLO セキュリティ状態および拡張されたユーザー権限を設定する場合、代わりに iLO RESTful API の使用をおすすめします。iLO RESTful API は Gen10 以降のシステムの優先プログラムインターフェイスであり、推奨の CLI/スクリプトツールは RESTful インターフェイス (iLOrest) です。

前提条件

iLO ユーティリティ

最高のパフォーマンスを得るには、IPv6 がサポートされ、TLS v1.1 以降がサポートされ、Hewlett Packard Enterprise 以下のバージョンの iLO ユーティリティが必要です。

ユーティリティ	バージョン
HPQLOCFG	5.0
Lights-Out XML スクリプティングサンプルバンドル	5.0.0
Windows 用 HPONCFG	5.0.0

表は続く

ユーティリティ	バージョン
Linux 用 HPONCFG	5.0.0
LOCFG.PL ¹	5.0.0
HPLOMIG	5.0.0

¹ Lights-Out XML スクリプティングサンプルバンドルで入手できます。

iLO HighSecurity、FIPS、SuiteB セキュリティ状態をサポートするには、アップデートされたユーティリティとシステムライブラリーが必要です。現在、HPONCFG Windows ユーティリティでは、HighSecurity、FIPS、および SuiteB セキュリティ状態がサポートされていません。

ライセンス

一部の機能は、iLO ライセンスパッケージの一部です。iLO ライセンスについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。<http://www.hpe.com/info/ilo/licensing>

インストール手順

インストール手順については、次のドキュメントを参照してください。

HPE iLO 5 ユーザーガイド

部品番号: 880740-191

版数: 1

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。